



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月7日

上場会社名 株式会社セキド 上場取引所 東
 コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭 TEL 03-6300-6335
 定時株主総会開催予定日 2024年6月18日 配当支払開始予定日 2024年6月19日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月18日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年3月21日～2024年3月20日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	8,480	20.5	151	38.2	130	184.7	47	—
2023年3月期	7,039	—	109	△59.7	45	△79.7	△46	—

(注) 包括利益 2024年3月期 84百万円 (—%) 2023年3月期 △54百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	23.39	21.63	5.3	2.5	1.8
2023年3月期	△22.78	—	△4.9	1.0	1.6

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	5,314	935	17.5	456.12
2023年3月期	4,945	870	17.5	424.45

(参考) 自己資本 2024年3月期 929百万円 2023年3月期 864百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	8	△54	△130	416
2023年3月期	△842	△99	810	593

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	20	△43.9	2.4
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	30	64.1	3.4
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		40.7	

(注) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年3月21日～2025年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,130	3.4	52	△34.4	20	△4.4	9	△37.6	4.42
通期	8,700	2.6	152	0.5	72	△44.6	50	4.9	24.54

(注) 2023年3月22日開催の取締役会決議により、連結子会社であったMEDIHEAL JAPAN株式会社の事業を当社に譲り受け
ており、清算終了の手続きが完了次第、非連結決算に移行する予定であります。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	2,040,928株	2023年3月期	2,040,928株
2024年3月期	3,566株	2023年3月期	3,536株
2024年3月期	2,037,371株	2023年3月期	2,036,326株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年3月21日～2024年3月20日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	8,480	101.7	147	—	125	—	36	—
2023年3月期	4,203	—	△17	—	△70	—	△112	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	17.99	16.64
2023年3月期	△55.15	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年3月期	5,304		786		14.7		383.06	
2023年3月期	4,599		729		15.7		354.96	

(参考) 自己資本 2024年3月期 780百万円 2023年3月期 723百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年3月21日～2025年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期（累計）	4,130	3.4	52	△30.7	20	19.6	9	59.2	円 銭 4.42
通期	8,700	2.6	152	3.4	72	△42.6	50	36.4	24.54

(注) 連結子会社であったMEDIHEAL JAPAN株式会社より譲り受けた美容業績を含めて記載しているため、連結業績予想数値と同額であります。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	18
4. その他	18

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、長引くロシア・ウクライナ戦争や中東での戦争の影響による世界的な物価高騰、また、円安基調が続く中、企業業績や個人消費への影響が懸念される状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、主力事業のファッション事業（店舗運営事業）と美容事業による新たな成長戦略に取り組んでおります。

ファッション事業（店舗運営事業）においては、『GINZA LoveLove』店舗での販促戦略として、AIを活用した再来店施策、アプリ会員の獲得、プッシュ通知による新商品・イベント・クーポン等、会員様にメリットのある情報伝達に努めました。また、韓国コスメのセレクトショップ『&choa!』においては、品揃えを充実させるため、什器の入替を積極的に行い、売上高の拡大に注力いたしました。

美容事業においては、「エイジレス」「ジェンダーレス」をコンセプトとした新商品の展開を行い、年齢・性別を問わずお薦めできるスキンケア商品により、顧客層の拡大に注力いたしました。また、流通戦略として、有力ショップ限定のプロモーション施策の実施、新製品の先行販売、専用什器・プロモーション什器導入による売場スペースの確保など、大手バラエティストアでの販売強化、存在感UPに取り組みました。さらに、これらの取組みは、オンラインポータルサイトでの売上高の伸長にもつながっております。

一方、利益面では、物価上昇と長引く円安基調の影響がなかなか改善されず、利益率向上の足枷となっております。安易な商品価格の値上げは控え、細かな販売管理費の見直しなどによる営業利益率の改善を図ってまいりました。なお、『GINZA LoveLove』店舗でショッピングセンター内の区画変更（移転）を2店舗、『&choa!』店舗1店舗の閉店と既存店舗の什器入替などにより、固定資産除却損32百万円、減損損失34百万円を計上しております。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高は8,480百万円（前年同期比20.5%増）、総額表示による売上高は前年同期比15.1%増の9,497百万円となり、営業利益は151百万円（前年同期比38.2%増）、経常利益は130百万円（前年同期比184.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は47百万円（前年同期は46百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[ファッション事業]

ファッション事業においては、韓国コスメのセレクトショップ『&choa!』を2店舗出店し、輸入ブランド専門店『GINZA LoveLove』11店舗、『&choa!』12店舗の全23店舗体制で運営しております。『GINZA LoveLove』では、顧客対策として、AIを使った顧客データ解析による再来店施策、アプリ会員への情報発信に努めるなど、売上高の確保に注力いたしました。また、『&choa!』店舗では、主力店舗で増収効果が認められた展示什器の入替を順次水平展開しております。新規出店も含め、コスト負担はありましたが、補助金収入の獲得が大きく利益貢献いたしました。

これらの結果、売上高は3,907百万円（前年同期比1.7%減）、総額表示による売上高は前年同期比5.0%減の4,924百万円となり、セグメント利益は88百万円（前年同期比103.2%増）となりました。

[美容事業]

美容事業においては、主力商品の売上が好調に推移したこと、大手バラエティストアへの販促を強化したこと、オンラインポータルサイトでのセール企画が大きく売上高の伸長に貢献いたしました。一方、利益面では、円安の影響もあり、利益率の低下が見られました。

これらの結果、売上高は4,333百万円（前年同期比47.7%増）となりましたが、セグメント利益は398百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

[賃貸部門]

賃貸部門では、売上高は35百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益は30百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

[その他]

その他の部門では、売上高は203百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は16百万円（前年同期比44.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産は、総資産は5,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ369百万円増加いたしました。

流動資産は4,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円増加いたしました。これは主に、商材の確保とその販売に伴う商品192百万円、売掛金202百万円の増加及び現金及び預金176百万円の減少によるものであります。

固定資産は1,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円増加いたしました。これは主に、新店の出店に伴

う建物及び構築物109百万円、有形固定資産その他36百万円の増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は4,379百万円となり、前連結会計年度末に比べ304百万円増加いたしました。

流動負債は3,658百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金117百万円の増加と未払消費税の増加などによる「その他」の流動負債100百万円の増加によるものであります。

固定負債は720百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円増加いたしました。これは主に、新店の出店などに伴う資産除去債務115百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は935百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の配当20百万円と親会社株主に帰属する当期純利益47百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加などにより、その他の包括利益累計額が37百万円増加したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は17.5%（前連結会計年度末は17.5%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は416百万円となり、前連結会計年度末に比べ176百万円減少いたしました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は8百万円（前連結会計年度は842百万円の使用）となりました。これは主に、事業拡大に伴う売上債権の増加189百万円、棚卸資産の増加192百万円はありましたが、仕入債務の増加134百万円、未払消費税等の増加77百万円があり、また、減価償却費48百万円、固定資産除却損32百万円、減損損失34百万円の計上を含む税金等調整前当期純利益68百万円の計上などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は54百万円（前連結会計年度は99百万円の使用）となりました。これは主に、新規出店などの設備投資で有形固定資産の取得による支出47百万円、差入保証金の差入による支出10百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は130百万円（前連結会計年度は810百万円の獲得）となりました。これは主に、新店の設備投資資金として長期借入金100百万円の調達を行いました。短期借入金の純減額76百万円、長期借入金の返済79百万円、社債の償還40百万円などによる支出と配当金の支払い20百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
自己資本比率 (%)	—	—	23.9	17.5	17.5
時価ベースの 自己資本比率 (%)	—	—	50.4	28.1	34.1
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	330
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	0.2

自己資本比率：(純資産合計－新株予約権)／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 当社は、2021年3月期まで連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期及び2021年3月期の各指標を記載しておりません。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

※ 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

なお、2022年3月期及び2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な物価高騰と円安基調の行方が不透明であることから、どちらも改善しないことを前提にしつつ、当社は、2つの主力事業を中心に、業績の安定的拡大に努めてまいります。

ファッション事業（店舗運営事業）

2025年3月期においては、『GINZA LoveLove』では、これまで取扱いのなかったブランドやアイテムの提案にも力を入れます。また、「AI」活用による販促施策をブラッシュアップさせ、リピート率を高めます。

『&choa!』では3店舗の新規出店に加え、2024年3月期に実施して成果の上がった商品展示方法の変更による品揃えのを図り、売上高の拡大に努めます。

利益面では、『GINZA LoveLove』の2店舗で、入居するショッピングセンター内での区画変更を行い、1店舗は売場面積を縮小、1店舗は売場面積を拡大いたします。売場面積に合った品揃えと店舗運営を行うことで、それぞれの店舗の利益率を向上させてまいります。また、ファッション事業全体に占める『&choa!』店舗の売上高構成比を上昇させることで、ファッション事業全体の利益率の向上を図ります。

これらにより、売上高は4,085百万円（前年同期比4.5%増）総額表示による売上高は前年同期比4.3%増の5,136百万円を、セグメント利益は65百万円（前年同期比26.8%減）を計画しております。なお、前年のセグメント利益に助成金収入66百万円が計上されておりますが、この影響を除いた数値での増収・増益を目指します。

美容事業

2025年3月期においては、商品戦略、流通戦略、オンライン戦略による増収・増益を目指します。

商品戦略では、これまでの事業拡大を支えてきたシートマスクカテゴリーを中心に据えた商品ラインナップを生産から流通に至るまで再構築することで、ベースとなる業績をしっかりと確保いたします。これに流通戦略として、前年から取り組む大手バラエティストアでの販売強化施策の継続、コンビニエンスストアの展開店舗数と取扱いアイテム数の増加施策の継続により売上高の拡大に努めます。

さらに、オンライン戦略として、オンラインポータルサイトで主力ブランドのMEDIHEALの販売に注力し、幅広い層のお客様にご利用いただくことで、オフライン事業での流通スピードUP・ボリュームUPにつなげてまいります。

コスト面では、物流拠点や販促戦略の見直しによる販売管理費の削減効果を見込むことで円安基調は楽観できないものの、売上高は4,400百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は417百万円（前年同期比4.8%増）と増収・増益を目指します。

これらにより、賃貸部門、外商部門を加えた2025年3月期の全社の売上高は8,700百万円（前年同期比2.6%増、総額表示による売上高は前年同期比2.7%増の9,750百万円）、営業利益は152百万円（前年同期比0.5%増）を見込んでおります。営業外費用に、現状の円安水準が続く前提で為替差損を織込み、経常利益は72百万円（前年同期比44.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は50百万円（前年同期比4.9%増）を見込んでおります。なお、前年の助成金収入の計上分を除いた経常利益の前年同期比は13.1%増となります。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の他社比較分析等を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当連結会計年度 (2024年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,204	416,479
売掛金	845,453	1,047,421
商品	2,095,630	2,287,996
預け金	136,687	133,899
その他	177,265	171,009
貸倒引当金	△17,642	△18,442
流動資産合計	3,830,597	4,038,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	614,315	731,496
減価償却累計額	△484,363	△492,289
建物及び構築物 (純額)	129,951	239,207
土地	429,273	429,273
リース資産	30,541	35,171
減価償却累計額	△24,809	△26,137
リース資産 (純額)	5,732	9,034
その他	190,760	249,596
減価償却累計額	△125,920	△148,467
その他 (純額)	64,840	101,128
有形固定資産合計	629,796	778,643
無形固定資産		
ソフトウェア	21,606	24,491
無形固定資産合計	21,606	24,491
投資その他の資産		
投資有価証券	95,369	107,529
差入保証金	323,485	327,019
繰延税金資産	28,504	20,139
その他	15,872	18,302
投資その他の資産合計	463,231	472,990
固定資産合計	1,114,634	1,276,125
資産合計	4,945,231	5,314,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当連結会計年度 (2024年3月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	632,321	750,171
短期借入金	2,312,648	2,236,503
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	77,919	93,657
リース債務	4,616	4,563
未払金	303,340	343,823
未払法人税等	18,660	17,670
契約負債	12,360	22,296
資産除去債務	—	8,716
その他	40,739	141,336
流動負債合計	3,442,606	3,658,738
固定負債		
社債	160,000	120,000
長期借入金	200,406	205,089
リース債務	6,931	6,605
役員退職慰労引当金	109,800	109,800
退職給付に係る負債	101,073	81,843
資産除去債務	3,288	115,850
長期預り保証金	29,980	29,980
長期末払金	20,579	51,494
固定負債合計	632,058	720,661
負債合計	4,074,664	4,379,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,990	10,000
資本剰余金	454,388	504,378
利益剰余金	337,443	364,719
自己株式	△5,026	△5,046
株主資本合計	846,795	874,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,997	44,450
退職給付に係る調整累計額	1,971	10,783
その他の包括利益累計額合計	17,968	55,234
新株予約権	5,802	5,804
純資産合計	870,566	935,089
負債純資産合計	4,945,231	5,314,489

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
売上高	7,039,745	8,480,303
売上原価	4,704,911	5,713,159
売上総利益	2,334,833	2,767,143
販売費及び一般管理費	2,225,421	2,615,898
営業利益	109,412	151,245
営業外収益		
受取利息	267	281
受取配当金	2,255	2,543
助成金収入	437	66,353
その他	1,791	1,880
営業外収益合計	4,752	71,058
営業外費用		
支払利息	45,739	45,890
社債利息	254	747
社債発行費	2,477	—
新株予約権発行費	3,618	1,928
為替差損	8,254	40,484
その他	8,152	3,237
営業外費用合計	68,497	92,287
経常利益	45,668	130,016
特別利益		
投資有価証券清算益	—	4,710
特別利益合計	—	4,710
特別損失		
固定資産除却損	563	32,071
減損損失	—	34,090
特別損失合計	563	66,162
税金等調整前当期純利益	45,104	68,565
法人税、住民税及び事業税	33,605	14,656
法人税等調整額	57,885	6,259
法人税等合計	91,491	20,915
当期純利益又は当期純損失(△)	△46,386	47,650
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△46,386	47,650

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△46,386	47,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,920	28,452
退職給付に係る調整額	△12,530	8,812
その他の包括利益合計	△8,610	37,265
包括利益	△54,996	84,915
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△54,996	84,915

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	59,178	453,576	485,601	△5,003	993,351
当期変動額					
剰余金の配当			△101,771		△101,771
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)			△46,386		△46,386
新株予約権の発行					—
新株予約権の行使	812	812			1,624
自己株式の取得				△22	△22
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	812	812	△148,157	△22	△146,556
当期末残高	59,990	454,388	337,443	△5,026	846,795

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	12,077	14,501	26,578	5,801	1,025,732
当期変動額					
剰余金の配当					△101,771
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)					△46,386
新株予約権の発行				1	1
新株予約権の行使				△0	1,624
自己株式の取得					△22
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	3,920	△12,530	△8,610	—	△8,610
当期変動額合計	3,920	△12,530	△8,610	1	△155,165
当期末残高	15,997	1,971	17,968	5,802	870,566

当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	59,990	454,388	337,443	△5,026	846,795
当期変動額					
減資	△49,990	49,990			—
剰余金の配当			△20,373		△20,373
親会社株主に帰属する 当期純利益			47,650		47,650
自己株式の取得				△19	△19
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	△49,990	49,990	27,276	△19	27,256
当期末残高	10,000	504,378	364,719	△5,046	874,051

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	15,997	1,971	17,968	5,802	870,566
当期変動額					
減資					—
剰余金の配当					△20,373
親会社株主に帰属する 当期純利益					47,650
自己株式の取得					△19
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	28,452	8,812	37,265	1	37,265
当期変動額合計	28,452	8,812	37,265	1	64,522
当期末残高	44,450	10,783	55,234	5,804	935,089

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	45,104	68,565
減価償却費	31,186	48,193
減損損失	—	34,090
助成金収入	—	△66,353
投資有価証券清算損益 (△は益)	—	△4,710
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9,330	800
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△459	△10,417
受取利息及び受取配当金	△2,523	△2,825
支払利息	45,993	46,637
固定資産除却損	563	32,071
売上債権の増減額 (△は増加)	△75,744	△189,150
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△569,365	△192,366
預け金の増減額 (△は増加)	△17,987	2,787
仕入債務の増減額 (△は減少)	△244,415	134,746
未払金の増減額 (△は減少)	105,554	15,735
未払又は未収消費税等の増減額	△19,345	77,999
その他	△23,432	△1,052
小計	△734,201	△5,248
利息及び配当金の受取額	2,523	2,824
利息の支払額	△47,646	△44,315
助成金の受取額	—	70,803
法人税等の支払額	△63,445	△15,646
営業活動によるキャッシュ・フロー	△842,770	8,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	—
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△67,916	△47,710
有形固定資産の除却による支出	—	△6,180
無形固定資産の取得による支出	△6,235	△13,295
投資有価証券の清算による収入	—	23,108
差入保証金の差入による支出	△27,519	△10,411
差入保証金の回収による収入	14,598	6,879
その他	△11,963	△6,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,036	△54,532
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	521,288	△76,145
長期借入れによる収入	300,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△37,068	△79,579
社債の発行による収入	200,000	—
社債の償還による支出	—	△40,000
配当金の支払額	△100,664	△20,290
セール・アンド・割賦バックによる収入	33,249	—
リース債務の返済による支出	△6,056	△5,507
長期割賦未払金の返済による支出	△101,839	△9,134
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,624	—
新株予約権の発行による収入	1	1
その他	△22	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	810,510	△130,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△131,266	△176,724
現金及び現金同等物の期首残高	724,470	593,204
現金及び現金同等物の期末残高	593,204	416,479

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に、輸入ブランドファッション商品の店舗での販売やインターネット通販による小売を行う「ファッション」事業、韓国コスメの人気ブランド『MEDIHEAL』の日本総代理店として小売法人向けの商品供給と公式インターネットサイトを運営する「美容」事業、自社物件の旧店舗を賃借物件の店舗設備等を他社に賃貸する「賃貸部門」を運営しており、それぞれ、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、それぞれの事業部又は部門による商品別、事業形態別のセグメントから構成されており、「ファッション」、「美容」、「賃貸部門」の3つを報告セグメントとしております。

また、当社は、「ファッション」、「美容」とは別に、家電商品、空調設備、太陽光発電システム、LED照明、リフォームなどの販売を手がける「外商部門」を設置しておりますが、当該部門は、売上高、セグメント利益、資産、負債その他の項目の金額に重要性がないため、現状、報告セグメントとしておりません。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2022年3月21日 至 2023年3月20日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2, 3, 4, 5	連結財務諸 表計上額 (注) 6
	ファッショ ン	美容	賃貸部門	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	3,974,387	2,834,755	—	6,809,143	192,863	—	7,002,006
その他の収益	—	—	37,738	37,738	—	—	37,738
外部顧客への売上高	3,974,387	2,834,755	37,738	6,846,881	192,863	—	7,039,745
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	98,675	—	98,675	—	△98,675	—
計	3,974,387	2,933,431	37,738	6,945,557	192,863	△98,675	7,039,745
セグメント利益	43,716	362,827	32,954	439,497	11,648	△405,477	45,668
セグメント資産	2,142,526	1,666,388	429,273	4,238,188	16,376	690,666	4,945,231
その他の項目							
減価償却費	19,232	1,161	—	20,393	—	10,792	31,186
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	113,870	—	—	113,870	—	4,684	118,554

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり外商部門等であります。

2. セグメント利益の調整額△405,477千円は、セグメント間取引消去△595千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△404,882千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント資産の調整額690,666千円は、セグメント間取引消去△170,216千円、報告セグメントに帰属しない全社資産860,882千円であります。全社資産の主なものは、現金及び預金、本社機能に係る資産であります。

4. 減価償却費の調整額10,792千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額4,684千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

6. セグメント利益は、連結財務諸表の経常利益としております。

当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2, 3, 4, 5	連結財務諸 表計上額 (注) 6
	ファッション	美容	賃貸部門	計			
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	3,907,191	4,333,897	—	8,241,088	203,814	—	8,444,903
その他の収益	—	—	35,400	35,400	—	—	35,400
外部顧客への売上高	3,907,191	4,333,897	35,400	8,276,488	203,814	—	8,480,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,907,191	4,333,897	35,400	8,276,488	203,814	—	8,480,303
セグメント利益	88,827	398,051	30,047	516,925	16,805	△403,714	130,016
セグメント資産	2,447,430	1,674,518	429,273	4,551,221	11,113	752,154	5,314,489
その他の項目							
減価償却費	36,059	1,161	—	37,221	—	10,972	48,193
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	232,803	—	—	232,803	—	9,675	242,479

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり外商部門等であります。

2. セグメント利益の調整額△403,714千円は、セグメント間取引消去4,189千円、報告セグメントに帰属しない
全社費用△407,903千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等でありま
す。

3. セグメント資産の調整額752,154千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。その主なもの
は、現金及び預金、本社機能に係る資産であります。

4. 減価償却費の調整額10,972千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9,675千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増
加額であります。

6. セグメント利益は、連結財務諸表の経常利益としております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年3月21日 至 2023年3月20日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーアンドエフ	1,658,090	美容事業
マルマンH&B株式会社	824,706	美容事業

当連結会計年度（自 2023年3月21日 至 2024年3月20日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーアンドエフ	1,461,038	美容事業
マルマンH&B株式会社	609,224	美容事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年3月21日 至 2023年3月20日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年3月21日 至 2024年3月20日）

(単位：千円)

	ファッション	美容	賃貸部門	その他	全社・消去	合計
減損損失	34,090	—	—	—	—	34,090

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年3月21日 至 2023年3月20日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年3月21日 至 2024年3月20日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
1株当たり純資産額	424.45円	456.12円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△22.78円	23.39円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	21.63円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当連結会計年度 (2024年3月20日)
純資産の部の合計額 (千円)	870,566	935,089
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	5,802	5,804
(うち新株予約権 (千円))	(5,802)	(5,804)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	864,764	929,285
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	2,037	2,037

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	△46,386	47,650
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (千円)	△46,386	47,650
普通株式の期中平均株式数 (千株)	2,036	2,037
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数 (千株)	－	165
(うち新株予約権 (千株))	(－)	(165)

	前連結会計年度 (自 2022年3月21日 至 2023年3月20日)	当連結会計年度 (自 2023年3月21日 至 2024年3月20日)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	<p>2020年5月27日取締役会決議による第4回新株予約権 新株予約権の数 525,000個 (普通株式 525,000株)</p> <p>2020年5月27日取締役会決議による第5回新株予約権 新株予約権の数 790,000個 (普通株式 790,000株)</p> <p>2020年5月27日取締役会決議による第6回新株予約権 新株予約権の数 790,000個 (普通株式 790,000株)</p> <p>2021年3月25日取締役会決議による第8回新株予約権 新株予約権の数 870個 (普通株式 87,000株)</p> <p>2021年6月17日取締役会決議による第9回新株予約権 新株予約権の数 480個 (普通株式 48,000株)</p> <p>2021年12月10日取締役会決議による第10回新株予約権 新株予約権の数 595個 (普通株式 59,500株)</p> <p>2022年5月19日取締役会決議による第11回新株予約権 新株予約権の数 550個 (普通株式 55,000株)</p> <p>2022年11月24日取締役会決議による第12回新株予約権 新株予約権の数 515個 (普通株式 51,500株)</p>

(注) 第4回、第5回及び第6回新株予約権については、2024年3月8日付取締役会決議に基づき、2024年3月25日付で割当先からの全数取得と消却を完了しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

役員の異動については、決定次第、開示いたします。